

主題や要旨	○ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、まとまった感想や意見をもつことができる。
鑑賞や感想	○ 文章を読んで主題を考えたり要旨をとらえたりして、それについて自分の考えをもつことができる。
表現の仕方	○ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むことができる。
聞き取り	○ 話し手の立場や話の根拠を考えながら、話の内容を的確に聞き取ることができる。

要素表から設問項目を設定する際には、要素表の「診断内容」のうち、設問が可能な部分を取り上げ、学年間の系統を考慮しながら、設問項目を設定するようにした。

具体的に、上記にあげた中学校3年の要素表（「理解の能力」）の中の「内容把握と要約」で述べると、次のようになる。

「内容把握と要約」の「診断内容」は、「話や文章の展開に即して的確に内容をとらえ、目的や必要に応じて要約することができる。」であるが、このうち、本テストの診断の仕方からみて、設問が可能であるのは、「話や文章の展開に即して的確に内容をとらえる」という前半部分であり、この部分を設問項目として設定する。

次に、この設問項目を他学年との系統で見してみる。

- ・ 1年「話や文章の要点と事柄をとらえ」
 - ・ 2年「話や文章の展開に即して内容をとらえ」
- 1年では、「要点と事柄」をおさえ、2年からは「展開に即して内容」をおさえることになり、3年では、それを「的確に」とらえるということが重要になる。

このように、取り上げた診断内容のその学年のもつ意味をとらえた上で、設問項目のポイントをおさえるようにした。

3 素材、設問の工夫

本テストの開発にあたって、素材や設問の工夫を行ってきたが、その中から、二つの例を、以下にあげる。

(1) 中学校1年、「聞き取り」の問題

〈「聞き取り」の問題での話の文章〉

五月五日午後五時ごろ、駅前のバス停で、一年三組の小林君と村田君はバッグを拾い、派出所に届けた。

その後、バッグは無事持ち主のAさんの手に返った。

バッグの中身は、Aさんが社会福祉のために募金しようと、一年がかりでためた約三千円の一円玉だった。

この話に感動した二人は、生徒会に一円玉募金を呼び掛けた。

それが、今回の募金設置につながったのである。

〈「聞き取り」の問題〉

□ ある記事をこれから読みますので、次の(1) (4)(7)のことについて聞き取り、解答欄に記入しなさい。

- (1) いつ (When) のことですか。
- (2) どこで (Where) - (解答) 駅前のバス停
- (3) だれが (Who) - (解答) 小林君と村田君
- (4) 何を (What) しましたか。

このことがあってから、小林君と村田君は

- (5) どのように (How) - (解答) 募金を呼びかけた
- (6) なぜ (why) - (解答) 社会福祉のために募